

ROCKY ROOF CARRIER



STR TYPE

STR-333SH／STR-333AH

サンバー}ハイルーフ車専用
アトレー}

取扱い説明書

この度は、ロッキールーフキャリアをお買い求めいただきましてありがとうございます。

常に安全にご使用していただくために、「取扱い説明書」をよくお読みの上、正しくご使用ください。

また、「取扱い説明書」はご使用ごとに必要となりますので大切に保管しておいてください。

なお、販売店にて本製品を取り付けられましたら、「取扱い説明書」を必ずお客様にお渡しください。

製品（組立て・取り付け等）についてご不明な点は、お買い求めの販売店又は当社までお問い合わせください。

誤った組立て、取り付け、使用による事故等の責任は一切負いかねますので、ご了承ください。

ご使用前に必ずよくお読みください。

■シグナルマークについて

シグナルマークは危険のレベルを表します。それぞれのマークの内容をよくご理解いただいた上で、必ず記載の注意事項を守ってください。

△危険 …… 取扱いを誤った場合に死亡・重傷の危険が発生します。

△警告 …… 取扱いを誤った場合に死亡・重傷の危険が発生する可能性があります。

△注意 …… 取扱いを誤った場合に軽傷を負うか、物的損害を負う危険が発生する可能性があります。

ご使用の前に

△警告

本製品はサンバー(KV・KS系)・アトレー(S100系)のハイルーフ車専用キャリアです。
その他の車種には絶対に取り付けないでください。

△警告

本製品の改造は絶対に行なわないでください。

- [例] •荷受け部の全面に板等を敷く
- 部品類の穴あけ・溶接等
- 本製品以外の部品による、組立て及び部品交換等

看板等の取り付けによる事故の責任は一切負いかねますので、ご了承ください。

△注意

キャリアを取り付けたまま洗車機にかけないでください。

→ キャリアに無理な力がかかり、屋根の変形等の損傷を車に与えます。

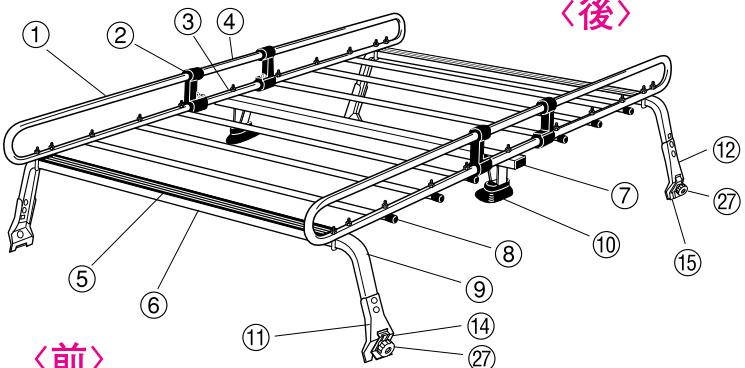
Rocky+ ロッキープラス株式会社

名古屋市守山区元郷2-107 TEL 052-778-7876 FAX 052-778-7718

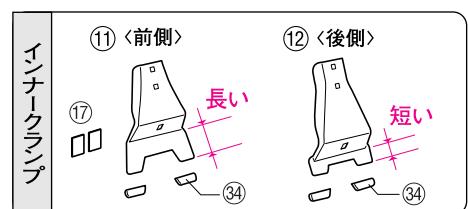
<http://www.rocky.ne.jp> rocky@rocky.ne.jp

構成パーツ

〈後〉



〈前〉



サンバー・アトレー共通パーツ

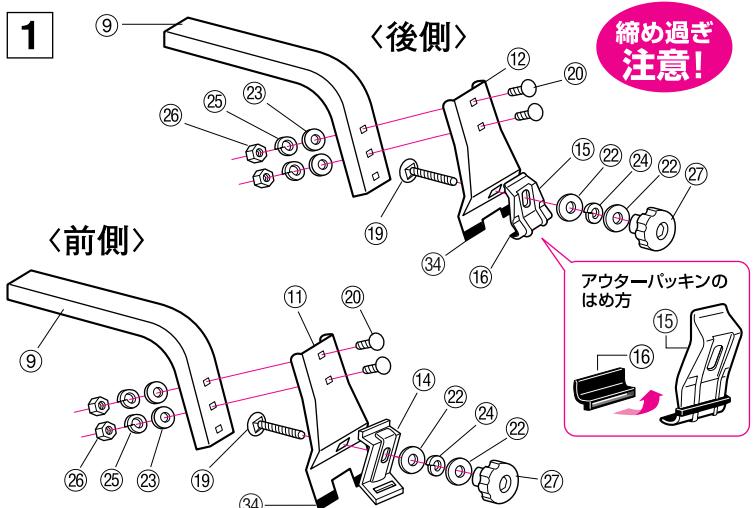
①U型サイドフレーム	4	⑯角根ボルト M8×30	4
②コネクター	4	⑰角根ボルト M6×12	8
③パイプ(穴・有)	2	㉑⊕丸ねじ M6×40	12
④パイプ(穴・無)	2	㉒平座金 M8	8
⑤ラバー	2	㉓平座金 M6	10
⑥フレームチャンネル	2	㉔バネ座金 M8	4
⑦フレームパイプ	1	㉕バネ座金 M6	30
⑧キャップ付パイプ	6	㉖六角ナット M6	30
⑨脚ステー(前・後)	4	㉗締付ノブ	4
⑩脚ステー(センター)	2	㉘六角ボルト M6×50	2
⑪インナークランプ(前)	2	㉙⊕丸ねじ M6 P=3	4
⑫インナークランプ(後)	2	㉚保護シート	2
⑬インナーフック	2	㉛ナイロンワッシャー	22
⑭アウタークランプ(前)	2	㉜ゴムパッキン	12
⑮アウタークランプ(後)	2	㉝インナー保護キャップ	8
⑯アウターパッキン	2	㉞アトレー専用パーツ	
⑰塩ビシート(前用)	4	㉟ウェルナット	2
⑱Uボルト	4		

組立方法

△注意

キャリアの組立時にラチェットレンチを使用する場合は締め過ぎによるボルトやナットの破損の恐れがある為締め過ぎには十分に注意して締付けてください。締付けの目安はバネ座金の口が閉じてから90度程度回るぐらいです。

1



前側

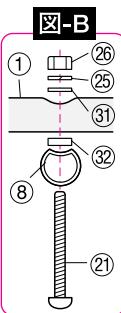
⑨脚ステーの3つ穴の上側2つに⑪インナークランプ(前)を⑯角根ボルトM6にて組み付け、⑭アウタークランプ(前)を仮組みします。⑪インナークランプ(前)の下端に⑯インナー保護キャップをはめ、裏側には⑰塩ビシート(前用)を貼ってください。(前側の図 参照)

後側

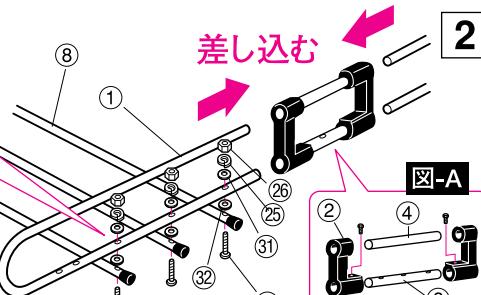
⑨脚ステーの3つ穴の上側2つに⑫インナークランプ(後)を⑯角根ボルトM6にて組み付け、⑮アウタークランプ(後)をはめます。⑫インナークランプ(後)の下端に⑯インナー保護キャップをはめます。(後側の図 参照)

締め過ぎ
注意!

図-B



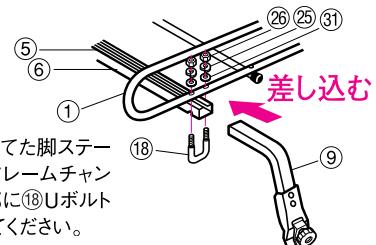
差し込む



2

- 図-Aのように、②コネクターに③④パイプ(穴・有／穴・無)を組み立て、②コネクターの上・下に注意して、①U型サイドフレームを両側より差し込み、⑧キャップ付パイプを図-Bのように仮組みします。
- ⑧キャップ付パイプと②コネクターが当たるところまで再度①U型サイドフレームを差し込み、②コネクターに付いている六角ボルトと②⊕丸ねじM6×40をしっかりと締め付けます。

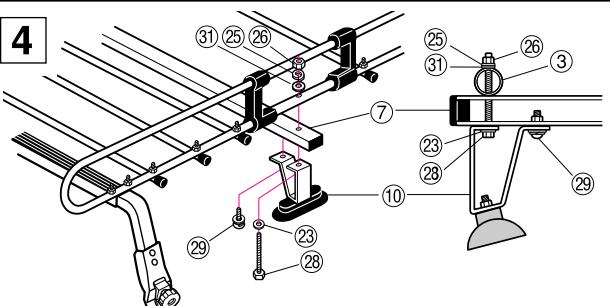
3



差し込む

- 図のように、①で組み立てた脚ステーを前後に注意して、⑥フレームチャンネルに差し込み、切込部に⑮Uボルトがはまるように仮止めしてください。

4



- 図のように、⑩脚ステー(センター)を⑦フレームパイプに取付け、コネクターの③パイプ(穴・有)に組付けます。

△注意

締め過ぎによる⑯角根ボルトM6の破損の恐れがある為、締付けには十分に気をつけてください。締付けの目安はスパンで⑯バネ座金M6の口が閉じてから90度程度回るぐらいにしてください。

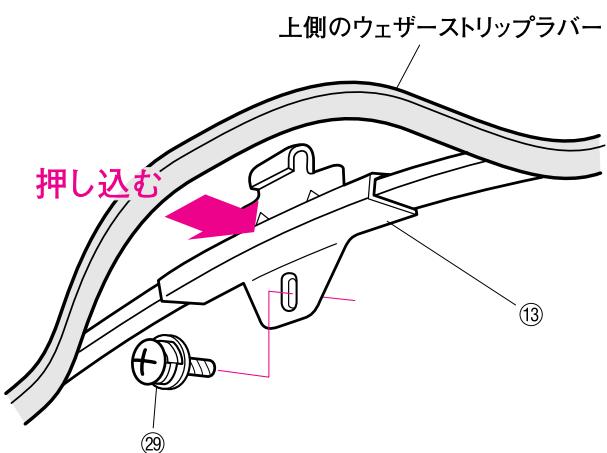
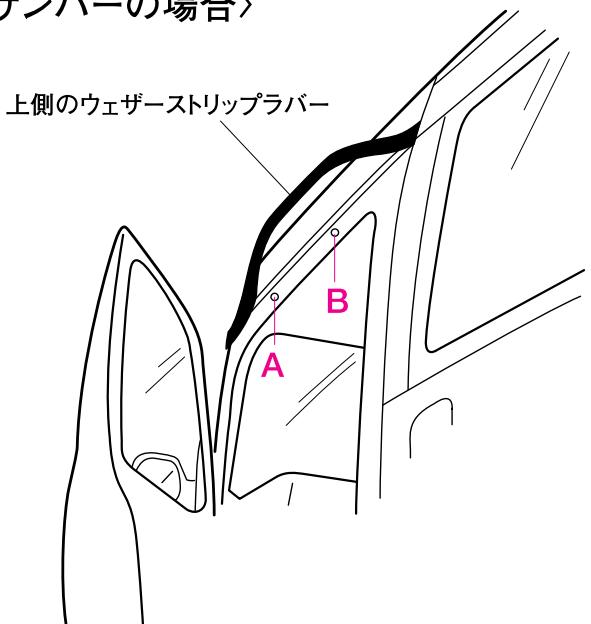
【参考締付トルク：5.0N·m (0.5kgf·m)】

取付方法

●図のよう、ウェザーストリップラバーを外し、⑬インナーフックを取り付けます。

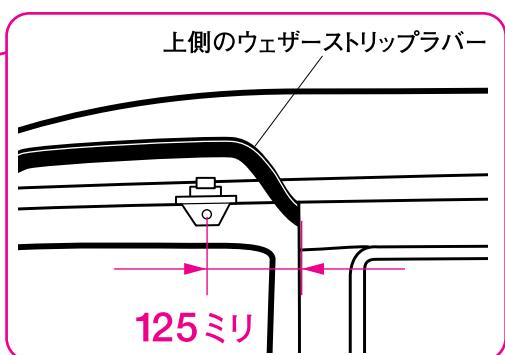
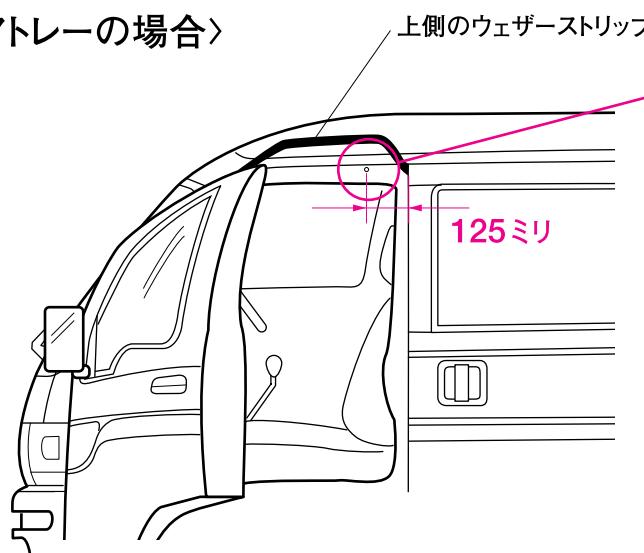
※サンバー・アトレーでは⑬インナーフックの取付け方が違いますので、注意して行ってください。

〈サンバーの場合〉

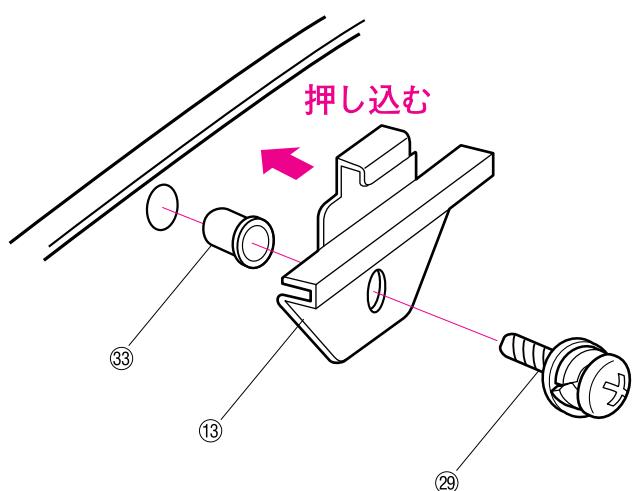


●キャビンのBのシートをはがし、⑬インナーフックを穴位置に合わせ、押し込みながら⑨+丸ネジM6 P=3でしっかりと締め付け、ウェザーストリップラバーを元のように取付けます。

〈アトレーの場合〉



※フロントドアの後端から前側へ125ミリのところのボディに12.7ミリの穴が開いている場合は下記の1、2、の穴開け作業は必要ありません。



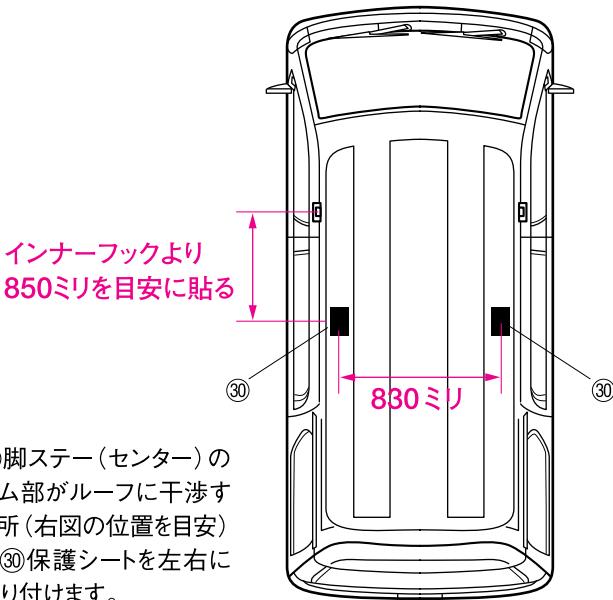
1.⑬インナーフックを取付位置にあて、下側の穴のセンターをマーキングしてください。

2.⑬インナーフックをいったん外し、マーキングした所にドリルで12.7ミリの穴を開けます。

3.穴に⑨ウェルナットを押し込みます。

4.⑬インナーフックを取付位置に押し込み、⑬インナーフックをしっかりと押さえつけながら、⑨+丸ネジM6 P=3でしっかりと締め付け、ウェザーストリップラバーを元のように取付けます。

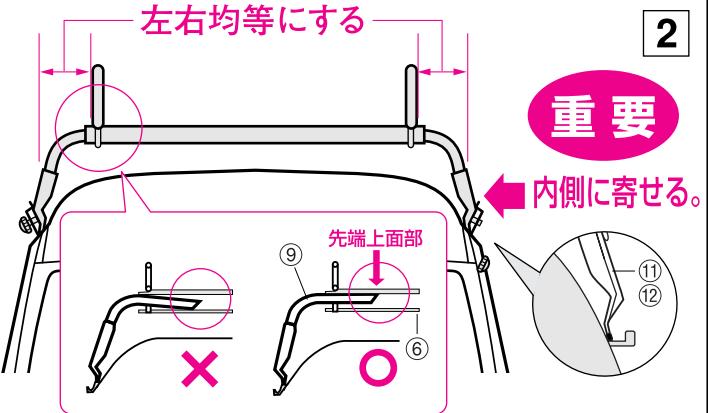
取付方法



- ⑩脚ステー(センター)のゴム部がループに干渉する所(右図の位置を目安)に⑪保護シートを左右に貼り付けます。

インナーフックより
850ミリを目安に貼る

83

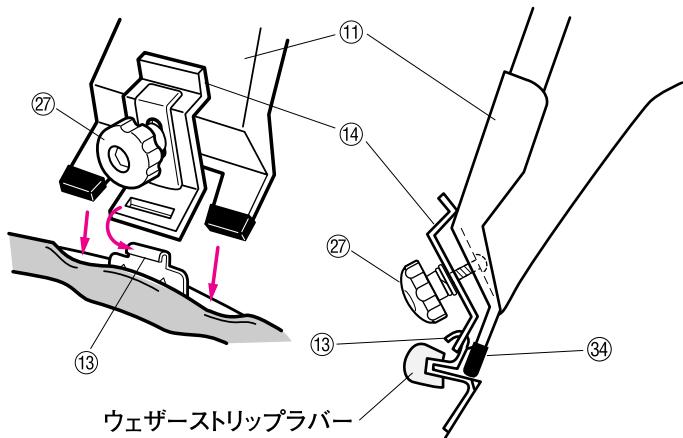


- ルーフにキャリアを載せ、⑪⑫インナークランプをレインレール内側に寄せます。左右の脚ステーが左右均等になるようにして、⑯Uボルトでしっかりと締め付けます。その時、⑨脚ステーの先端上面部が⑥フレームチャンネルに密着するようにし、⑪⑫インナークランプがレインレールの内側にあるか確認してください。

△注意

この作業を怠ると異常音の発生やキャリアの強度不足による破損の原因になる為必ず行ってください。

〈フロント側の場合〉

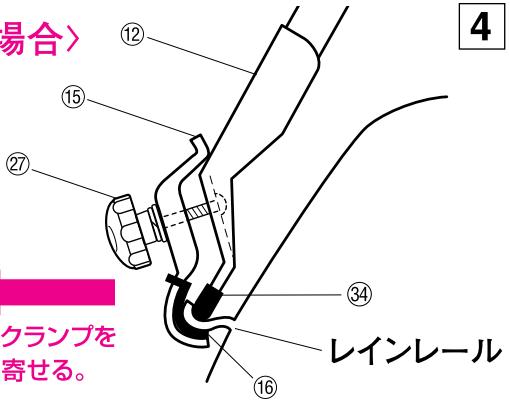


- フロント脚の⑦締付ノブを緩め、⑭アウタークランプ(前)を引き出し、⑬インナーフックに引っ掛け、⑦締付ノブを締め付けます。

ウェザーストリップラバー

3

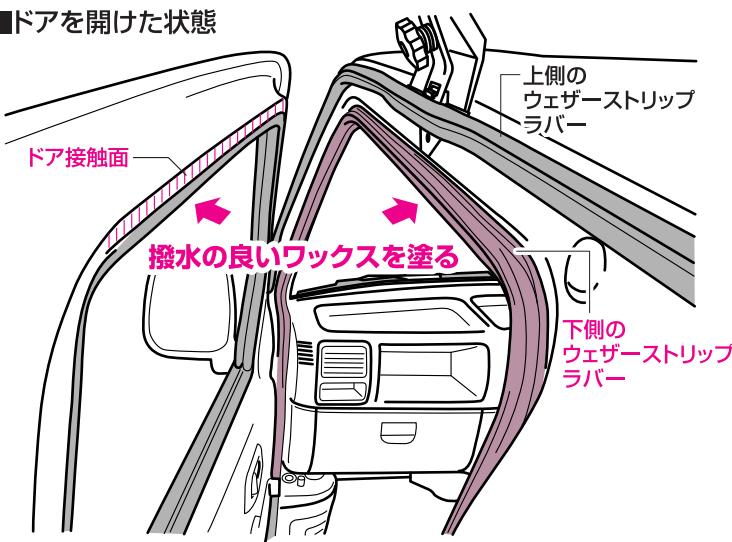
〈リヤ側の場合〉



- リヤ脚の⑫締付ノブを緩め、⑮アウタークランプ（後）を引き出し、レインレールに引っ掛け、⑯インナークランプを手前に寄せながら⑰締付ノブを締め付けてください。
 - 最後にキャリアを前後左右に揺すり、ガタツキが無いことを確認してください。ガタツキがある場合は、再度取り付け直してください。

雨漏りについて

■ドアを開けた状態



本製品は車両の個体差(バラツキ)によりキャリア装着後、新車や長期保存車などを問わず、フロントドア周りから雨漏りする場合があります。原因として、ドアを閉めっ放しの状態が長く続き、下側のウェザーストリップラバーの硬化にて弾性が低下し、ドア接触面との密着力が弱くなることにより、わずかな隙間でも雨漏りする場合があります。

雨漏りの対策は下側のウェザーストリップラバーとドア接触面に“撥水の良いワックス”を塗ることにより止まる場合があります。これは“撥水の良いワックス”的効果により、**雨などの水をはじく働きと、ラバーを軟化させ弾性を復元して密着力を向上させます。**以上の事もあり定期的にウェザーストリップラバーとドア接触面に“撥水の良いワックス”を塗ることをお勧めいたします。

組立て・取り付け上の注意

組立て・取り付けの前には、必ず「組立て説明書」をよくお読みください。

△注意

キャリアの組立て時は、**滑り止め付軍手等**を使用してください。

△注意

キャリアの取り付け・取り外し時は、**必ず2人以上**で行なってください。
→ 車の屋根の傷やへこみ、キャリアの破損の防止になります。

△注意

キャリアの取り付け・取り外し及び荷物の積降ろしは平坦な場所で十分なスペースを確保して行なってください。
車両は、エンジンを停止し、ギアをローギアまたはパーキングポジションにしてサイドブレーキを確実にかけてください。

積載物と積載物の制限について

△警告

本製品は荷物用の積載キャリアです。
次のものは、積載しないでください。

〔スキー板・ストック、スノーボード、サーフボード、自転車、コンテナ、〕
〔ウインドサーフボード・ポール・ブーム、ボート、カヌー、カヤック等〕

走行時にはもちろんのこと、停車時においてもキャリアの上に
人が乗ったり、生き物を乗せないでください。

△警告

最大積載重量は**60kgまで**ですから、過積載しないでください。

△警告

下記の大きさを超える荷物は積載しないでください。
又積載物がキャリアからはみ出す場合は、
はみ出し量は前後均等にはみ出すようにしてください。

■積載物の大きさの制限

(単位=mm)

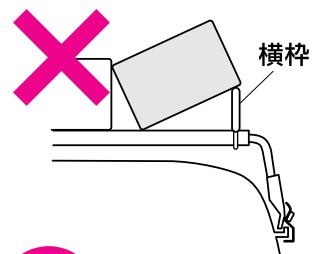
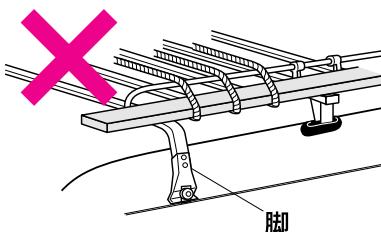
長さ × 幅 × 高さ 2900 × 800 × 600



積載方法について

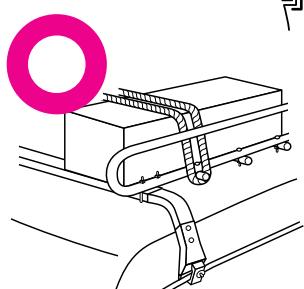
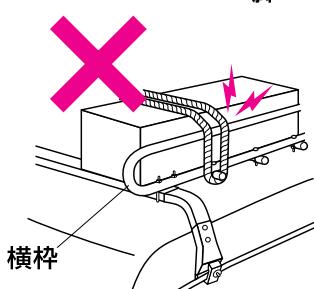
△警告

キャリアの脚部や横枠の上に
荷物を積載しないでください。
→ 積載物が確実に固定でき
ないため、脱落事故を起
こします。



△警告

積載物を固定する際は、ロープ
等が横枠の上を通らないように
してください。
→ 横枠の破損・変形及び積載
物のガタツキにより、脱落
事故を起こします。



△注意

積載物の重量は、偏らないよう均等にし、ゆっくりと積載してください。
→ 偏った積載は キャリアや屋根に負担がかかり、キャリア・屋根等が変形することが
あります。

脱落事故防止のために

〈走行前〉

⚠️警告

走行前には、**積載物が確実に固定されていること**を確かめてください。

→ 積載物がガタツキ、脱落事故を起こします。

⚠️警告

走行前には、必ず**各締め付け部にユルミが無いか**を点検してください。

→ 締め付け部にユルミがあると、思わぬ脱落事故を起こします。

〈走行中〉

⚠️警告

キャリア使用時は、法定速度を守り、**急発進・急ハンドル・急ブレーキ等**の過酷な運転は避け、悪路では徐行してください。

→ キャリアや積載物がズレる等、危険な状態に変化することがあります。

やむを得ず、急ブレーキ等を行なった時は、速やかに停車し異常が無いことを確認した後で、走行してください。

⚠️警告

高速走行や強風時は、より多くの風圧がかかるため、十分ご注意して走行してください。

⚠️警告

走行中に屋根からキャリアや積載物のガタツキ音等の異常音が聞こえた場合は、速やかに停車し、キャリア及び積載物の状態を確認してください。

→ “ピューピュー”という音はキャリアの風切り音ですので、異常音ではありません。

⚠️注意

キャリアの装着時及び荷物を積載している時は、**車両の地上高が高くなる**ため、駐車場・高架等の高さ制限がある場所を通過する場合には十分ご注意ください。

〈走行後〉

⚠️警告

初期ユルミが発生しますので、**初回30km走行後**には必ず各締め付け部を増し締めしてください。

保管方法・保守について

⚠️注意

本体・ネジ類の防錆処理を市販の防錆剤等にて、**組立て時及び1ヵ月に一度は**行なってください。

⚠️注意

キャリアを保管する場合は、きれいに清掃し、防錆処理を行なった上で、湿気のない場所で保管してください。

⚠️注意

キャリアの塗装及びコーティングにキズ等が付きましたら、その部分からサビが発生しますので、タッチペイント等で補修してください。

■部品交換について

部品を破損・紛失された場合は、ご使用のキャリアの品番及び『組立て説明書』の構成部品表の各部品名にて、お買い求めの販売店または当社までお問い合わせください。